

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 15 日作成

事務事業名	『H24拡充』生涯学習指定管理施設維持補修事業			所属部局 教育委員会 所属課室 生涯学習課 所属担当 生涯学習担当	単位番号 2012-910004			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				課長名 小野義邦			
	担当者名 笹本芳美							
基本政策	基本 計 画 体 系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目 会計 01 一般	名称 款 目 04 03	細目 160	細々目 01	
		22	生涯学習ネットワークの整備充実		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		
		35	生涯学習システムの推進		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度)			事業区分 事業根拠	<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業		
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
事務事業の概要	事業の内容：期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載。 生涯学習指定管理施設の緊急修繕のための維持補修費				事業費の主な内訳（24年度 決算見込）			
	項目(細節) 修繕料		金額(千円) 2,559	項目(細節) 計		金額(千円) 2,559		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	指定管理施設の緊急を要する修繕を実施し、施設の効率的な運用を図った。
25年度活動予定	指定管理施設の緊急を要する修繕を実施し、施設の効率的な運用を図る。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
指定管理者 施設 利用者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
市民が利用しやすいうように施設環境を整える。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
生涯学習等の環境整備が図られることにより、市民の利用が増え、文化を育む都市づくりにつながる。	



(2) 事業費・比率の推移

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル 事業費 コスト	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円						
	一般財源	千円	0	2,559	2,399	2,400	2,400	2,400	
	事業費計 (A)	千円	0	2,559	2,399	2,400	2,400	2,400	0
	正規職員従事人數	人		1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間		30	30	30	30	30	
	人件費計 (B)	千円	0	119	119	119	119	119	0
	(A)+(B)	千円	0	2,678	2,518	2,519	2,519	2,519	0
	活動指標	ア イ ウ	箇所	16.0	9.0	9.0	9.0	9.0	
	対象指標	ア イ ウ	団体 箇所 人	16.0 16.0 245,500.0	9.0 9.0 270,000.0	9.0 9.0 270,000.0	9.0 9.0 270,000.0	9.0 9.0 270,000.0	
	成果指標	ア イ ウ	箇所	0.0	8.0	5.0	5.0	5.0	
	上位成果指標	ア イ	%	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	生涯学習施設への指定管理者制度導入に伴い、平成22年度に維持修繕について一括管理を開始した。平成23年度計画修繕については、前年度末に対応が可能となり事業経費は発生していない。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか？また、今後の予測は？	施設の破損・損壊、老朽化による緊急修繕に早急に改善する方向で対応しているが、建物の経年劣化による故障が年々増加し、補修経費が追いつかない状態にある。
③ 事務事業に対して関係者（市民、事業対象者、議会等）からどんな意見・要望が寄せられているか？	指定管理者からの経年劣化、老朽化等による修繕要望は、年々増えている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	隨時、指定管理者と施設管理について協議を行い、緊急性を考慮したうえで施設の維持管理に取り組んでいる。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	指定管理者から緊急修繕要望をとりまとめ、計画をたてた。桃源(屋上補助水槽・空調機フィルター)、甲西(エアコン)、櫛形北地区(煙感知器・非常灯バッテリー・ガスオーブン等・ベランダ防水)、婦人の家(トイレ)の修繕実施

事務事業名	『H24拡充』生涯学習指定管理施設維持補修事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 指定管理者との基本協定により、市が責任分担を負う修繕対応である。事業を実施することにより施設の利便性を高め住民サービスの向上につながるので、上位目的と結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 緊急修繕については施設維持管理経費に含まれていないため、市の関与は妥当と考えられる。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市が運営管理している施設なので、維持していくための緊急修繕は必要である。
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 自然災害による突発的な修繕、老朽化による不良箇所の改修等が主な事業内容であり、予測できない。
有効性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 利用者の不平不満につながり、住民サービスが低下する。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 施設の現状維持のために必要な事業である。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 緊急修繕を対象にした事業なので、削減余地はない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の職員で対応している。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 利用者のサービス向上に直接つながるので、公平公正は保たれている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性										
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)										
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)										
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)										
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)											
(2) 改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成 果 水 準	コスト水準										
	削減		維持	増加							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果										
	(11)										
	コスト削減優先度評価結果										
	(6)										